

## 地域と共に周防大島高校10周年

創立10周年を迎えた周防大島高等学校の記念式典が、10月24日、橘総合センターにおいて全校生徒や関係者約300人の出席のもと行われました。同校は連係型中



▲「伝統を受け継ぎながら、新たな伝統を創り上げるため、精一杯努力していかなくてはならない」と生徒代表吉田未来さん

高一貫教育の充実を図り、島全体を学びの場として捉え、地域の方々のご協力を得ながら、地域の課題解決に取り組むなど地域活性化に貢献。その特色ある活動が認められ、厚生労働大臣表彰や文部科学大臣表彰、ESD大賞ユネスコスクール最優秀賞などを受賞されています。現在、新設された福祉専攻科を含め全校生徒248名。周防大島唯一の県立高校としてさらなる飛躍が期待されます。



## 豊かな海を守る植樹祭



10月18日、沖浦小学校で植樹祭が行われました。これは、B & G財団の「B & G海を守る植樹教育事業」の一環で行われたもので、横浜国立大学宮脇昭名誉教授が提唱する、いくつもの種類の木を混ぜて植樹する混植・密植型の「宮脇方式」を取り入れ、育苗や植樹などを通して、豊かな海を守るためや防災林としての役割を持つ「森の大切さ」を学んでもらおうというもの。

植樹祭は、全校児童25人と源空寺保育園の園児8人が参加して行われ、3年前に園児や児童らが神社の境内や裏山で拾ったどんぐりから育てたクヌギやアラカシなど約100本の苗木を、講堂そばに丁寧に植えました。

### 〈沿革〉

- H 18.11 周防大島高校設置（普通科（安下庄校舎）・福祉課（久賀校舎））
- H 19. 4 開校式・第1期入学式
- H 21. 4 安下庄高校、久賀高校継承式
- H 26. 4 地域創生科（福祉コース・ビジネスコース）設置（安下庄校舎）
- H 26. 9 ユネスコスクールに認証（県内公立高校初）
- H 28. 3 福祉課閉科
- H 28. 4 福祉専攻科設置（久賀校舎）
- H 28. 4 学校運営協議会設置（県内公立高初のコミュニティスクール）

## はじめまして 町の顔



A L T（外国語指導助手）  
ブリタニー・ウィルコックスさん

周防大島町のみなさん、こんにちは。私はブリタニー・ウィルコックスといいます。現在8つの学校（主に周防大島町の西部）でA L Tとして英語を教えています。周防大島町の山や海を散策したり、途中でいろいろな人に出会ったりするのがとても楽しいです。

私はアラスカのシトカという所の出身です。シトカは雨が多く、熊も多く、そして北極光（北極で見られるオーロラ）が見られるところです。周防大島町とシトカは似ているところがたくさんあるように思います。釣りができるところや、田舎の環境、そしてきれいな景色などです。私は生まれて8カ月の時まで、日本にいました。私の父と母は22年前、香川県の大川郡白鳥町という所で英語を教えていたのです。そのため、私の姉と私は高松市で生まれたのです。こうして日本に戻ってくることでできてうれしく思います。

周防大島町のために何かできたらいいなと思っています。そして、地域の方々とお話をすることを楽しみにしています。

【P 8 ちょび塩クイズ答え：食後】食後の運動は、血液中のブドウ糖を筋肉のエネルギーとして使うので血糖値を下げ、血糖値スパイクを防ぎます。食後1時間前後の軽い運動がおススメです。